

正誤表 『万葉集難訓歌を明快に解く！』 2026年3月28日版

=====  
初版 第1刷

- p. 4: 9行め:【誤】思う 【正】想う
- p. 5: 7行め:【誤】「そもそも」の間違い 【正】「そもそもの間違い」
- p.10: 4行め:【誤】思う 【正】想う
- p.17: 10行め:【誤】表意文字になっている 【正】表意文字にもなっている
- p.19: 3行め:【誤】『<sup>かしかま</sup>囂しい』 【正】『<sup>かしかま</sup>囂し』
- p.21: 6行め:【誤】<sup>あが</sup>吾<sup>せ</sup>が<sup>こ</sup>瀬子 【正】<sup>あが</sup>吾<sup>せ</sup>瀬子
- p.24: 5行め:【誤】<sup>せ</sup>瀬子 【正】<sup>せ</sup>瀬(兄)子
- p.31\_4行目: 「基準③が満たされる」のように「」で囲む。
- p.32: 8行め:【誤】思う 【正】想う
- p.33: 7行め:【誤】「明確で詳細」 【正】「明確かつ詳細」
- p.45: 6行め:(香具山を妻にする夫としてふさわしい)のように()で囲む。
- p.45: 10行め:(皇族の男たちは権力や地位によって)のように()で囲む。
- p.46: 7行め:(皇族の男たちは権力や地位によって)のように()で囲む。
- p.86: 9行め:『先入観』を「先入観」に変更。『』を「」に変更。
- p.100: 8行め:【誤】「義訓」はしない 【正】「義訓をしない」
- p.100: 11行め:【誤】妹 【正】姉
- p.101: 5行め:振り仮名、【誤】みづから 【正】みづから
- p.101: 5行め:【誤】<sup>かんがみ</sup>監て 【正】<sup>かんが</sup>監みて
- p.103: 4行め:【誤】を除外され 【正】が除外され
- p.104: 11行め:【誤】表意文字になっている 【正】表意文字にもなっている
- p.105: 8行め:【誤】<sup>かんがみ</sup>監る 【正】<sup>かんが</sup>監みる
- p.106: 5行め:【誤】『<sup>みみ</sup>耳を』 【正】『<sup>みみを</sup>耳矣』
- p.106: 6行め:振り仮名、【誤】みづから 【正】みづから
- p.106: 8行め:【誤】<sup>かんがみ</sup>監る 【正】<sup>かんが</sup>監みる
- p.108:9,10行め:振り仮名、【誤】みづから 【正】みづから
- p.108: 9行め:【誤】<sup>かんがみ</sup>監て 【正】<sup>かんが</sup>監みて
- p.111: 7行め:振り仮名、【誤】おのずと 【正】おのづと
- p.112: 3行め:【誤】兄妹 【正】姉弟
- p.128: 11行め:振り仮名、【誤】いわぬ 【正】いはぬ
- p.129:1,2行め:振り仮名、【誤】いわぬ 【正】いはぬ
- p.130:2,10行め:振り仮名、【誤】いわぬ 【正】いはぬ
- p.131: 2行め: 【誤】言わぬ 【正】言はぬ
- p.135: 11行め: 【誤】言わぬ 【正】言はぬ

p.136 : 5行め : 振り仮名、【誤】いわぬ 【正】いはぬ

p.155 : 2, 4行め : 【誤】万葉学会 【正】萬葉学会

=====